

単年度用

R5決算用

事業番号	4 - 55 - 87 - 1	成果説明書・掲載事業		
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 4 企画費	
事業名	道の駅整備検討事業		担当課 政策推進課	
総合戦略施策名	基本目標		担当係 政策推進係	
	基本的な施策の方向		施策番号	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="radio"/>	事業開始年度 令和5年度	
根拠法令等				
実施の背景	人口減少にともない、市内において地域社会や地域経済の活力低下が懸念されていることから、農業、漁業、商工業、観光業の活性化を図るとともに、来訪者の増加につながる拠点として特産品の直売所を兼ね備えた集客施設の整備検討を行う。			
目的	高い集客性を長期的に維持していけるよう、魅力ある集客施設「道の駅」を整備し、富津市をPRする拠点を設置することで、本市への来訪促進及び「にぎわいの場」の創出に寄与し、地域をはじめ市内各種産業の活性化に向けた取組を進めていくうえでの契機とする。			
事業概要	対象	市民	対象者数(全住民に対する割合) 39,710 人 ( 100.0 % )	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助 <input type="radio"/>	間接補助 <input type="radio"/>	補助先 <input type="radio"/>
		貸付 <input type="radio"/>	貸付先 <input type="radio"/>	
	その他 <input type="radio"/>	その他の内容 <input type="radio"/>		
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●旅費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 229,719円 道の駅及び産地直売所の視察に係る旅費</li> <li>●需用費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18,693円 事務用消耗品</li> </ul> <p>県内外の道の駅や産地直売所の視察を行ったほか、整備方法や管理運営方法の調査研究を行い、これらを踏まえ「富津市道の駅基本方針」を策定した。</p>			
関連事業				

単年度用

R5決算用

事業番号	4 - 55 - 87 - 1		成果説明書・掲載事業							
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	2 総務費		項	1 総務管理費		目	4 企画費		
事業名	道の駅整備検討事業						担当課	政策推進課		
[ 単位：千円 ]	令和6年度（予算）		令和5年度（決算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）			
コスト	合計	10		248		0		0		
	内訳 (人件費を除く)	需用費	10		旅費	230				
					需用費	18				
	合計	1.55 人	11,488	1.05 人	7,782	0.00 人	0	0.00 人	0	
	人件費	正職員	1.55 人	11,488	1.05 人	7,782	人	0	人	0
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費	11,498		8,030		0		0		
財源	合計	10		248		0		0		
	国県支出金									
		国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財									
		その他特財の内容								
	一般財源	10		248		0		0		
事業実績	活動実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和5年度	令和4年度	令和3年度		
	単位当たりコスト	総事業費 /								
事業成果	成果目標	現時点では指標の設定は困難なため成果目標は記載しない。								
	成果	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和5年度	令和4年度	令和3年度		
事業の自己評価	<p>集客施設「道の駅」の設置に向け、県内外の道の駅へ施設等の規模や導入する機能の調査を主眼とした視察を実施した。今後は、道の駅を整備するにあたり、候補地の選定や整備・運営方法などについて市の方針を示した「富津市道の駅基本方針」に沿って事業を推進していく。</p>									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R5決算用

事業番号	4 - 55 - 89 - 1	成果説明書・掲載事業	○	
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 4 企画費	
事業名	百年後芸術祭関係費		担当課 政策推進課	
総合戦略施策名	基本目標 4市の産業仕事を創る		担当係 政策推進係	
	基本的な施策の方向 ② 地域の特色ある産業を盛んにする		施策番号 7	
事務区分	自治事務 ○	法定受託事務	事業開始年度 令和5年度	
根拠法令等				
実施の背景	令和5年は千葉県が明治6年に誕生してから150年の節目の年であり、それを記念して6月からの1年間、県内自治体で各地域の特色を生かした記念事業を実施していくこととなった。			
目的	千葉県誕生150周年を記念して、県内自治体で記念事業を実施することを契機に、富津市・木更津市・君津市・袖ヶ浦市及び市原市の内房総5市を会場とする「百年後芸術祭ー内房総アートフェスー」を開催し、当地域の魅力の向上を図るとともに新たな価値を創出する。			
事業概要	対象	市民及びイベント参加者		
		対象者数(全住民に対する割合) - 人 ( - % )		
	実施方法	直接実施	業務委託	一部委託
		委託先・指定管理者		
		直接補助 ○	間接補助	補助先 内房総アートフェス実行委員会
貸付		貸付先	実施主体 内房総アートフェス実行委員会	
	その他	その他の内容		
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
<p>●負担金補助及び交付金・・・27,000,000円 百年後芸術祭（内房総アートフェス）実施に係る5市負担金（内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテンツ（開催規模）割 18,000,000円</li> <li>・人口割 9,000,000円</li> </ul> <p>●需用費・・・・・・・・・・623,700円 百年後芸術祭（内房総アートフェス）関連イベント来場者に配布（のこぎり山バウムクーヘン、岬の華（海苔）、イベント用手提げ袋）</p> <p>本事業は、市原アートミックスをはじめ、全国で開催している芸術祭を数多く手掛けているアートディレクター、北川フラム氏のディレクションにより、プロの現代アート作家が制作した作品を内房総5市の各所に展示することを主とする「LIFE ART」と、本事業の総合プロデューサーである音楽家の小林武史氏がプロデュースする音楽イベントを主とする「LIVE ART」の2つを主要事業としており、その他関連イベントも開催期間中に実施している。</p> <p>（1）L I F E A R T [アート作品展示] 気鋭の現代アート作家を国内外から招聘し、内房総5市の各所でアート作品を展示する。来場者が巡回しながらアート作品を鑑賞しやすいよう、各市それぞれが拠点となる地域を選定し作品を展示する。 【開催期間】令和6年3月23日～5月26日 【作品数】91作品（参加アーティスト77組）</p> <p>（2）L I V E A R T [ライブ・アート・パフォーマンス] 小林武史総合プロデューサー率いるクリエイター集団「Butterfly Studio」による音楽・映像・ダンス・光・テクノロジー（ドローン）を融合させたアートパフォーマンスショー（①en Live Art Performance）及び開催エリアの各地でその場を、言葉・身体表現・音楽・芸能・御面をキーワードに劇場へと変えていくライブ・アート・パフォーマンス（②通底縁劇・通底音劇）を開催する。</p>				

単年度用

R5決算用

事業番号	4 - 55 - 89 - 1		成果説明書・掲載事業	○						
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	4	企画費	
事業名	百年後芸術祭関係費				担当課	政策推進課				
[ 単位：千円 ]	令和6年度（予算）		令和5年度（決算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）			
コスト	合計	0		27,624		0		0		
	内 訳			負担金補助及び交付金	27,000					
				需用費	624					
	人件費	合計	1.55 人	11,488	2.05 人	15,193	0.00 人	0	0.00 人	0
		正職員	1.55 人	11,488	2.05 人	15,193	人	0	人	0
		臨時職員等	人	0	人	0	人	0	人	0
	総事業費	11,488		42,817		0		0		
	財 源	合計	0		27,624		0		0	
		国県支出金								
		国県支出金の内容								
地方債										
その他特財										
	その他特財の内容									
一般財源	0		27,624		0		0			
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和5年度	令和4年度	令和3年度			
	アート作品展示数			作品	91	—	—			
	ライブ・アート・パフォーマンス			回	3	—	—			
	単位当たりコスト			総事業費	/					
事業成果	成果目標	アート作品鑑賞パスポートの販売枚数を成果指標とする。（開催期間：令和6年3月～5月）								
	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和5年度	令和4年度	令和3年度			
	アート作品鑑賞パスポート販売数			枚	20,000					
事業の自己評価	内房総5市及び民間企業で構成される内房総アートフェス実行委員会が運営主体となり、広域連携・官民協働による初の試みとして、芸術祭の開催に向けた準備を進めてきた。									
比較参考値										
その他特記すべき事項										

単年度用

R5決算用

事業番号	4 - 58 - 5 - 1	成果説明書・掲載事業	<input type="radio"/>	
<b>事業シート（概要説明書）</b>				
科目	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 4 企画費	
事業名	ステイふつつ移住促進事業		担当課 政策推進課	
総合戦略施策名	基本目標	3 暮らしやすく移住しやすい環境づくり	担当係 移住定住推進係	
	基本的な施策の方向		② 移住しやすい環境を整える 施策番号 1	
事務区分	自治事務 <input type="radio"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	事業開始年度 令和4年度	
根拠法令等	ステイふつつ移住促進事業補助金交付要綱			
実施の背景	昭和60年から人口が減少していることから、地域社会の活力を維持するため、人口流出に歯止めをかけ居住者を増やすことが求められた。			
目的	本市への移住を目的に市内で住居・仕事を探し、暮らしを体験する等の活動にかかる市内での宿泊費の一部を補助し、移住者の増加を図る。			
事業概要	対象	市外在住者	対象者数(全住民に対する割合) - 人 ( - % )	
	実施方法	直接実施 <input type="radio"/>	業務委託 <input type="checkbox"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>
		委託先・指定管理者		
		直接補助 <input type="radio"/>	間接補助 <input type="checkbox"/>	補助先 市外在住者 実施主体 富津市
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先	
	その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容		
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>				
<p>● 需用費 . . . . . 168,892円            (内訳)            ・ 燃料費 142,492円            ・ 修繕料 26,400円            公用車(エスティマ)車両点検・修繕代</p> <p>● 負担金補助及び交付金 . . . . . 28,510円            ・ ステイふつつ移住促進事業補助金            補助金交付件数 5件            補助金対象人数 8人</p>				
関連事業				

単年度用

R5決算用

事業番号	4 - 58 - 5 - 1		成果説明書・掲載事業	○								
<b>事業シート（概要説明書）</b>												
科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	4	企画費			
事業名	ステイふつつ移住促進事業				担当課	政策推進課						
[ 単位：千円 ]	令和6年度（予算）		令和5年度（決算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）					
コスト	合計		941		197		242		0			
	（人件費を除く） 内 訳	負担金補助及び交付金	600		需用費	169		需用費	175			
		需用費	268		負担金補助及び交付金	28		役務費	32			
		役務費	31					公課費	20			
		報償費	22					負担金補助及び交付金	15			
		公課費	20									
	合計		0.85 人		4,139		0.92 人		4,144		0.00 人	0
	人件費	正職員	0.45 人		3,335		0.42 人		3,198		人	0
		臨時職員等	0.40 人		804		0.50 人		946		人	0
		総事業費	5,080		4,336		4,386		0			
財源	合計		941		197		242		0			
	国県支出金											
		国県支出金の内容										
	地方債											
	その他特財											
その他特財の内容												
一般財源	941		197		242		0					
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和5年度	令和4年度	令和3年度					
	市内案内ツアー			回	17	9	-					
	宿泊助成件数			件	5	3	-					
	単位当たりコスト			総事業費 / 市内案内ツアー	千円	255	487					
事業成果	成果目標		市内の暮らしを多くの移住希望者に体験してもらうことで、移住者の増加を図る。									
	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和5年度	令和4年度	令和3年度					
	宿泊助成人数			人	8	5	-					
事業の自己評価		<p>市内案内ツアーの実施回数が増えたことで、移住を検討している方がより興味を持って移住計画を進めることができたのではないかと考える。</p> <p>市内案内ツアーの参加者の多くは、日帰りで移動できる場所からの申込が多く、宿泊助成件数はあまり伸びなかったが、市ホームページ等を活用し、より多くの移住希望者に本制度を活用してもらえるように周知し、移住者の増加を図る。</p>										
比較参考値		<p>●移住のお試し補助等を実施している県内の市町村 いすみ市、旭市、御宿町、白子町</p>										
その他特記すべき事項												

単年度用

R5決算用

事業番号	4 - 58 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業	○		
<b>事業シート（概要説明書）</b>						
科目	款	2	総務費	項	1	
					総務管理費	
					目	
					4	
事業名	空家バンク事業			担当課	政策推進課	
総合戦略施策名	基本目標	3 暮らしやすく移住しやすい環境づくり		担当係	移住定住推進係	
	基本的な施策の方向		② 移住しやすい環境を整える		施策番号	
					3	
事務区分	自治事務	○	法定受託事務			
				事業開始年度	令和元年度	
根拠法令等	富津市空家バンク実施要綱、富津市空家バンクリフォーム補助金交付要綱、富津市空家バンク登録支援・利用者支援補助金交付要綱					
実施の背景	令和元年5月に富津市空家バンクを立ち上げたが、同年10月末現在で登録物件数は1件のみとなっていることから、空家バンクを有効活用するための施策を講じることが求められた。					
目的	補助金をインセンティブとすることで、空家バンクへの登録並びに登録物件の購入及び賃貸を促進し、市への移住・定住人口の増加を図り、もって市の活性化に寄与する。					
事業概要	対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>●登録物件の購入者及び賃貸者</li> <li>●空家バンクへの登録希望者</li> </ul>			対象者数(全住民に対する割合)	
					— 人 ( — % )	
	実施方法	直接実施	○	業務委託	一部委託	指定管理
		委託先・指定管理者				
		直接補助	○	間接補助	補助先	登録物件の購入者及び賃貸者
貸付			貸付先	実施主体	富津市	
	その他		その他の内容			
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>●富津市空家バンクリフォーム補助金・・・1,500,000円（件数3件）</li> <li>【制度概要】 富津市空家バンクに登録された空家を購入し、又は賃貸した者に、当該空家のリフォームに係る経費について補助金を交付することで、市への移住・定住の促進を図ることを目的としている。</li> <li>（対象者） 富津市空家バンクに登録された空家を購入し、又は賃貸した者 等</li> <li>（対象となる経費） 住宅機能の維持又は向上のために実施する改修、修繕、工事等にかかる経費。ただし、倉庫、車庫、外構等、居住家屋以外に該当するものを除く。</li> <li>（補助金額） 補助対象経費の合計額の2分の1以内で、50万円を限度とする。</li> <li>●富津市空家バンク登録支援補助金・・・662,575円（件数8件）</li> <li>【制度概要】 空家の所有者又は利用者等に、家財等整理・登記手続・仲介手数料・引越作業に係る経費について、補助金を交付することで、富津市空家バンクへの登録を促し、市内における空家の有効活用を推進し、移住・定住の促進による地域の活性化を図ることを目的としている。</li> <li>（対象者） 空家の所有者又は利用者 等</li> <li>（対象となる経費） 家財等整理、登記手続等、仲介手数料、引越作業にかかる経費。</li> <li>（補助金額） 補助対象経費の合計額の2分の1以内で、10万円を限度とする。</li> <li>●通信運搬費・・・・・・・・・・・・・2,520円</li> </ul>						
関連事業						

単年度用

R5決算用

事業番号	4 - 58 - 10 - 1		成果説明書・掲載事業	○						
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	4	企画費	
事業名	空家バンク事業				担当課	政策推進課				
[ 単位：千円 ]	令和6年度（予算）		令和5年度（決算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）			
コスト	合計	4,600		2,165		464		494		
	内訳 (人件費を除く)	負担金補助及び交付金	4,600		2,163		464		494	
		役務費			2					
		人件費								
	合計	0.95 人	4,880		0.95 人	4,880		0.91 人	5,211	
	正職員	0.55 人	4,076		0.55 人	4,076		0.61 人	4,644	
	臨時職員等	0.40 人	804		0.40 人	804		0.30 人	567	
総事業費	9,480		7,045		5,675		3,652			
財源	合計	4,600		2,165		464		494		
	国県支出金									
	国県支出金の内容									
	地方債									
	その他特財									
その他特財の内容										
一般財源	4,600		2,165		464		494			
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和5年度	令和4年度	令和3年度			
	空家バンク登録件数			件	13	5	2			
	空家バンク登録支援件数			件	8	1	-			
	単位当たりコスト			総事業費 / 空家バンク登録件数	千円	542	1,135	1,826		
事業成果	成果目標	市内における空家の有効活用により、本市への移住・定住の促進を図ることから、空家バンク登録物件の契約件数を成果指標とする。								
	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和5年度	令和4年度	令和3年度			
	空家バンク登録物件の契約数			件	10	3	1			
	空家バンクリフォーム補助件数			件	3	2	1			
事業の自己評価	<p>空家バンクの物件登録について、市広報紙や市ホームページでの周知のほか、固定資産税納税通知書に空家バンク制度のリーフレットを同封するなど周知を行った。</p> <p>空家バンクの登録申込みが増加するなど、周知の成果は出ており、令和5年度の登録物件数は13件と大幅に増えた。引き続き空家バンク制度の周知を行うとともに、登録物件の増加を図っていく。</p>									
比較参考値	<p>●空家に係るリフォーム補助等を実施している県内の市町村 木更津市、野田市、茂原市、佐倉市、旭市、市原市、八千代市、鴨川市、印西市、栄町、神崎町、芝山町、一宮町、睦沢町</p>									
その他特記すべき事項										

単年度用

R5決算用

事業番号	4 - 58 - 15 - 1	成果説明書・掲載事業	○		
<b>事業シート（概要説明書）</b>					
科目	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 4 企画費		
事業名	PRイベント事業		担当課 政策推進課		
総合戦略施策名	基本目標	3くらしやすく移住しやすい環境づくり	担当係 移住定住推進係		
	基本的な施策の方向		② 移住しやすい環境を整える		
事務区分	自治事務 ○	法定受託事務	事業開始年度 令和4年度		
根拠法令等					
実施の背景	昭和60年から人口が減少していることから、地域社会の活力を維持するため、人口流出に歯止めをかけ居住者を増やすことが求められた。				
目的	本市への移住者を増加させるために、市外の方へPRを行い、移住者の増加を図る。				
事業概要	対象	市外在住者	対象者数(全住民に対する割合) - 人 ( - % )		
	実施方法	直接実施 ○	業務委託	一部委託	指定管理
		委託先・指定管理者			
		直接補助	間接補助	補助先	実施主体
		貸付	貸付先		
その他	その他の内容				
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>● PR活動（広告料）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 176,000円 映像配信・デジタルサイネージ実施箇所 2カ所 ・ 室町ちばぎん三井ビルディング（R5.4.1～R6.1.31） ・ JR大宮駅（R5.9.4～R5.10.1）</li> <li>● PR活動（手数料）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27,500円 移住パンフレット配架 1カ所 ・ イオンモール大和（R5.11.23～R6.2.8）</li> <li>● PRイベント出展 PRイベント出展料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 253,000円 ・ ふるさと回帰フェア2023（R5.9.17 東京国際フォーラム） ・ JOIN移住・交流&amp;地域おこしフェア2024（R6.1.13 東京ビックサイト） イベント出展に伴う駐車場使用料・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17,250円</li> <li>● 負担金 ふるさと回帰支援センター負担金・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50,000円</li> </ul>					
関連事業					

単年度用

R5決算用

事業番号	4 - 58 - 15 - 1		成果説明書・掲載事業	○							
<b>事業シート（概要説明書）</b>											
科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	4	企画費		
事業名	PRイベント事業			担当課		政策推進課					
[ 単位：千円 ]	令和6年度（予算）		令和5年度（決算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）				
コスト	合計		941	524	987	0					
	（人件費を除く） 事業費	内 訳	役員費	469	使用料及び賃借料	270	役員費	616			
			使用料及び賃借料	422	役員費	204	使用料及び賃借料	282			
			負担金補助及び交付金	50	負担金補助及び交付金	50	負担金補助及び交付金	50			
							委託料	39			
	人件費	合計		0.60 人	3,907	0.60 人	3,907	0.66 人	4,453	0.00 人	0
		正職員		0.50 人	3,706	0.50 人	3,706	0.56 人	4,264	人	0
		臨時職員等		0.10 人	201	0.10 人	201	0.10 人	189	人	0
	総事業費			4,848	4,431	5,440	0				
財源	合計		941	524	987	0					
	国県支出金										
	国県支出金の内容										
	地方債										
	その他特財										
その他特財の内容											
一般財源			941	524	987	0					
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和5年度	令和4年度	令和3年度				
	PRイベントへの参加			回	2	2	-				
	単位当たりコスト			総事業費 / PRイベントへの参加数	千円	2,216	2,720				
事業成果	成果目標		移住PRを行うことで移住者の増加を図ることから、PR広告を実施した箇所数とする。								
	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和5年度	令和4年度	令和3年度				
	PR広告			箇所	2	3	-				
事業の自己評価		前年度に引き続き、主要駅でのデジタルサイネージ広告を実施した。次年度以降も継続して、多くの方が見ることができる本市のPR方法を検討したうえで、PR活動を実施し、移住者の増加を図る。									
比較参考値											
その他特記すべき事項											

単年度用

R5決算用

事業番号	4 - 58 - 20 - 1	成果説明書・掲載事業	○		
<b>事業シート（概要説明書）</b>					
科目	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 4 企画費		
事業名	移住・定住促進関係費		担当課 政策推進課		
総合戦略施策名	基本目標	3 暮らしやすく移住しやすい環境づくり	担当係 移住定住推進係		
	基本的な施策の方向		② 移住しやすい環境を整える 施策番号 1		
事務区分	自治事務 ○	法定受託事務	事業開始年度 令和元年度		
根拠法令等	富津市U I Jターンによる起業・就業者等創出事業補助金交付要綱				
実施の背景	<p>昭和60年から人口が減少していることから、地域社会の活力を維持するため、人口流出に歯止めをかけ居住者を増やすことが求められた。</p> <p>また、中小企業等の担い手不足の解消、条件不利地域に該当する地域へ移住及び定住の促進を行い、地域課題の解消を求められた。</p>				
目的	条件不利地域に該当する地域へ移住及び定住の促進を行い、また、起業・創業者の創出の促進に取り組み本市への移住及び定住を促進する。				
事業概要	対象	市外在住者	対象者数(全住民に対する割合) - 人 ( - % )		
	実施方法	直接実施 ○	業務委託	一部委託	指定管理
		委託先・指定管理者			
		直接補助 ○	間接補助	補助先 市外在住者	実施主体 富津市
		貸付	貸付先		
その他	その他の内容				
<b>事業内容（金額を含めた予算の執行内容）</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>● U I Jターンによる起業・就業者等創出事業補助金・・・8,000,000円（7件）</li> <li>● 移住定住PR（普通旅費）・・・4,450円 デジタルサイネージ視察（大宮駅）等</li> <li>● 消耗品・・・118,997円 ・情報誌（田舎暮らしの本、TURNS） ・PR用バック、ファイル</li> <li>● 移住定住パンフレット（印刷・製本）・・・431,200円</li> <li>● 委託料・・・1,518,000円 ・移住定住サイト改修・・・1,100,000円 ・移住定住パンフレット用地図作成・・・418,000円</li> </ul>					
関連事業					

単年度用

R5決算用

事業番号	4 - 58 - 20 - 1		成果説明書・掲載事業	○						
<b>事業シート（概要説明書）</b>										
科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	4	企画費	
事業名	移住・定住促進関係費			担当課		政策推進課				
[ 単位：千円 ]	令和6年度（予算）		令和5年度（決算）		令和4年度（決算）		令和3年度（決算）			
コスト	合計		29,202		10,073		2,005		1,045	
	（人件費を除く） 事業費	内 訳	負担金補助及び交付金	28,000		負担金補助及び交付金	8,000		負担金補助及び交付金	1,000
			委託料	880		委託料	1,518		需用費	184
			需用費	155		需用費	550		旅費	21
			報償費	100		旅費	5			
			旅費	67						
	人件費	合計		0.50 人		3,706		0.30 人		2,284
		正職員		0.50 人		3,706		0.30 人		2,284
		臨時職員等		人		0		人		0
	総事業費		32,908		13,779		4,289		3,358	
財源	合計		29,202		10,073		2,005		1,045	
	国県支出金	16,500		6,000		1,350		750		
		国県支出金の内容		U I J ターンによる起業・就業者等創出事業補助金						
	地方債									
	その他特財	その他特財の内容								
一般財源		12,702		4,073		655		295		
事業実績	活動指標名（実績値/目標値）			単位	令和5年度	令和4年度	令和3年度			
	補助金交付件数			件	7	3	1			
	単位当たりコスト			総事業費 / 補助金交付件数	千円	1,968	1,430	3,358		
事業成果	成果目標 U I J ターンによる起業・就業者等創出事業補助金を活用し、移住者の増加を図ることから、補助金を交付した対象人数を成果指標とする。									
	成果指標名（実績値/目標値）			単位	令和5年度	令和4年度	令和3年度			
	補助金交付人数			人	18	3	1			
事業の自己評価		テレワークに関する要件を満たす申請者が増加した。 今後も、U I J ターンによる起業・就業者等創出事業補助金の周知を行い、移住者の増加を図っていく。								
比較参考値		●U I J ターンによる起業・就業者等創出事業を実施している県内の市町村 館山市、旭市、勝浦市、鴨川市、南房総市、匝瑳市、香取市、山武市、いすみ市、東庄町、九十九里町、大多喜町、御宿町、鋸南町								
その他特記すべき事項										